住宅市場データ
ショート
レポート

**2014 年 7 月 9 日版**

このレポートは、住宅市場の把握に欠かせない各種データや経済指標により親しみを感じていただくためのものです。気軽にお読みいただければ幸いです。

# 分譲住宅購入予定者の考える「住宅＆土地価格」「住宅ローン金利」の動向

～分譲住宅購入予定者へのウェブアンケートより～

7月1日に発表された今年１月１日現在の路線価では、愛知県は1.2％の上昇であった。特に名古屋市中村区名駅1丁目（名駅通り）では10％の上昇を記録している。愛知県ではもはやデフレ傾向というには無理がある状況になってきている。一方、「住宅ローン金利」は歴史的低金利を継続中だ。これらの指標は住宅購入を検討される皆様にとっては非常に重要なポイントになることは間違いがない。

では、分譲戸建住宅の購入を予定しておられる皆様はこの辺りをどのように考えておられるのだろうか？当研究室では消費税増税後の4月4日～9日に、愛知県の分譲住宅購入予定者へのウェブアンケートを実施した。

表1は住宅や土地の価格が今後半年間にどうなると思いますか？をお尋ねしたものだ。45.56%の人はあまり変化しない、つまり横ばいとの回答だ。一方、40％の人は上昇との回答だ。下落は11.11%にすぎない。価格は横ばい以上の動きを示すという感じを持つ人が約8割を占めていることになる。一言でいえば穏やかな先高感ということだろう。

次に表2をご覧いただきたい。こちらは住宅ローン金利が今後半年間でどうなると思いますか？についてお聞きしたものだ。上昇との回答が46.67%、あまり変化しないが45.56%となっている。これについても約8割の人が横ばい以上、つまり穏やかな先高感を持っているということになる。

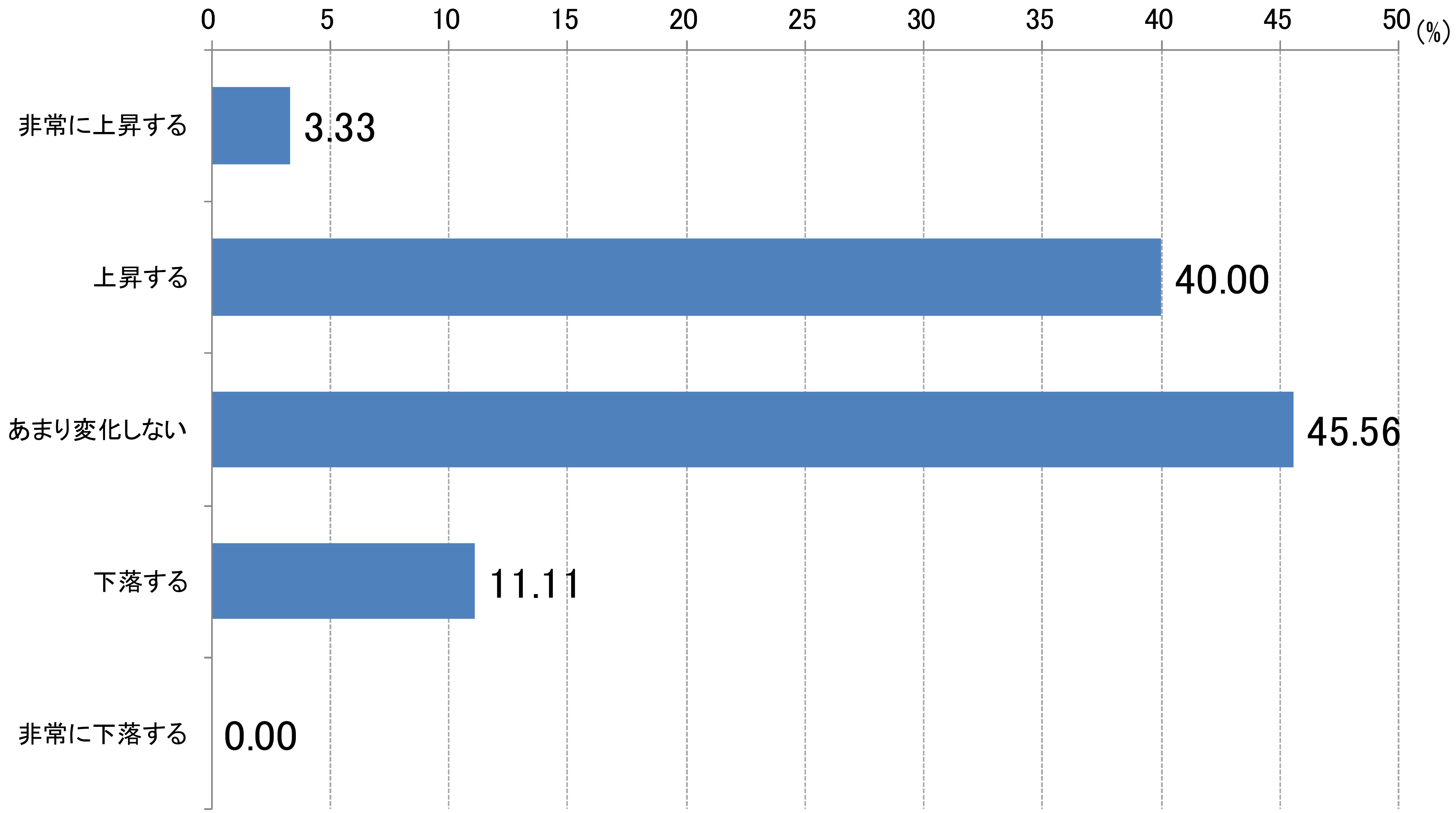
これらを踏まえた今後の住宅購入動向だが、価格や住宅ローン金利の穏やかな先高感は明らかに購入予定者の背中を穏やかに押すことになるのではないだろうか。住宅市場は穏やかながら前向きに動き出すのでは？と期待できそうなウェブアンケート結果であった。

以上

本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

## ■表1　住宅や土地の価格は今後半年間でどのようになると思いますか？

回答者：愛知県における分譲住宅購入予定者90名
単数回答、単位：％

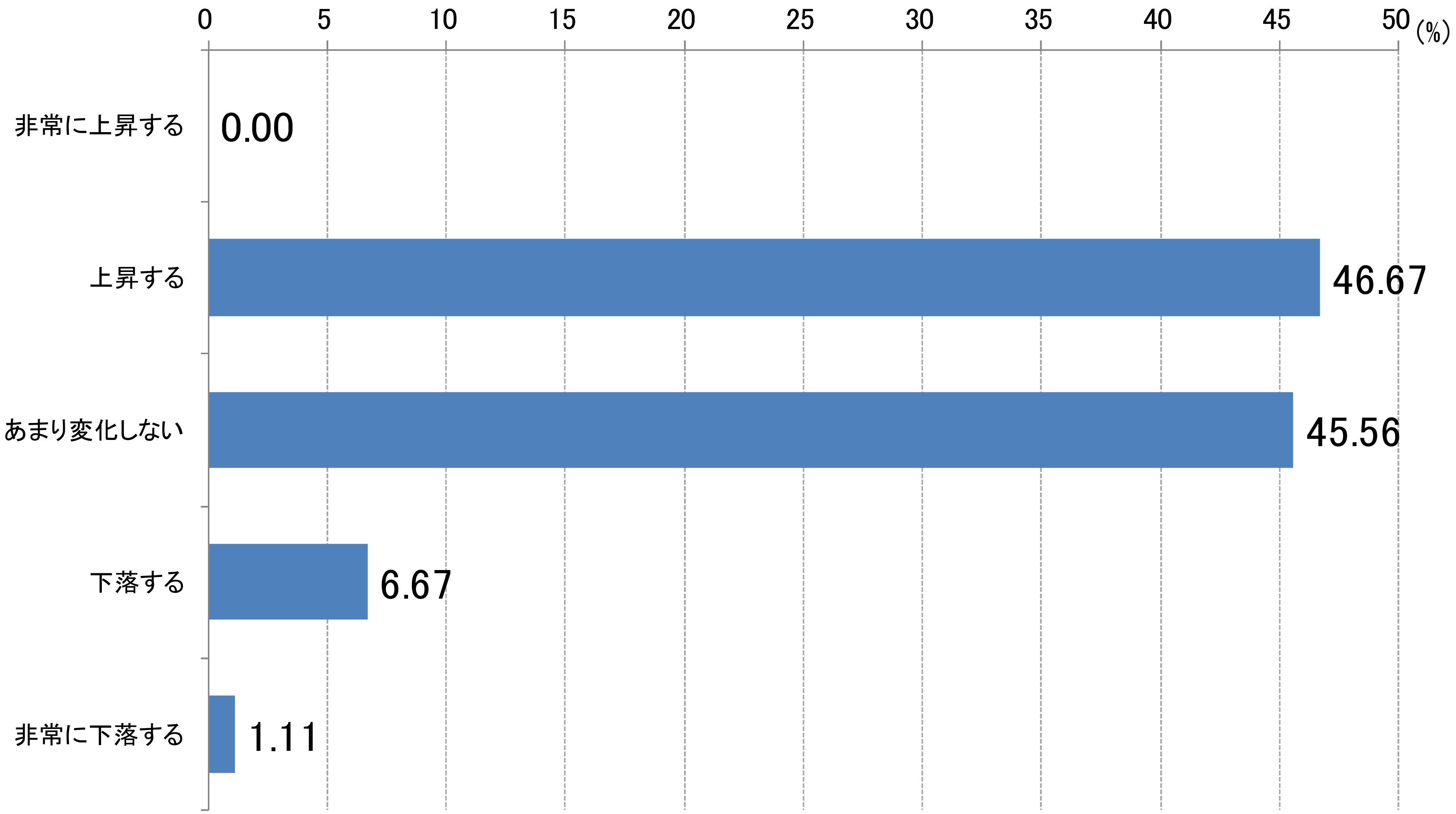



| | |
|---|---|
| 調査対象者 | ：愛知県在住の30-69歳男女<br>新築戸建分譲住宅に住み替えたい人 |
| サンプル数 | ：90s |
| 調査期間 | ：2014年4月4日～9日 |
| アンケート実施 | ：株式会社インテージ http://www.intage.co.jp/ |
| 企画・分析 | ：東新住建（株）住宅市場研究室 |

東新住建株式会社住宅市場研究室

## ■表2　住宅ローン金利は今後半年間でどのようになると思いますか？

回答者：愛知県における分譲住宅購入予定者90名
単数回答、単位：％




| | |
|---|---|
| 調査対象者 | ：愛知県在住の30-69歳男女<br>新築戸建分譲住宅に住み替えたい人 |
| サンプル数 | ：90s |
| 調査期間 | ：2014年4月4日～9日 |
| アンケート実施 | ：株式会社インテージ http://www.intage.co.jp/ |
| 企画・分析 | ：東新住建（株）住宅市場研究室 |

東新住建株式会社住宅市場研究室